

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	集中治療室常駐薬剤師による薬剤総合評価調整加算取得への取り組みとその成果		
1. 研究の目的と方法	<p>高齢者では複数の慢性疾患を有するため、多くの薬を服用しています。このように、多くの薬剤を服用することに伴い副作用や有害事象など健康上の別の問題が生じやすい状況を「ポリファーマシー」といいます。ポリファーマシーを解消するには、複数の薬剤が処方されている患者さんに対して処方内容の再評価をすることで、有害事象の存在や服薬過誤、服薬アドヒアランス低下などを回避することができます。</p> <p>集中治療室に入院する患者さんの多くは入院前に投与されていた常用薬が一時的に中止になることがあります。そのため、薬剤の再評価をすることが容易であり、薬剤の調整に積極的に介入することが可能となります。そのため、ポリファーマシーを解消するため、2022年4月より集中治療室常駐薬剤師が不要な薬剤の中止や代替薬の提案などの取り組みを行ってきました。</p> <p>そこで、集中治療室常駐薬剤師が薬剤の再評価や薬剤調整による介入効果を調査するため、非介入群（2021年4月～2022年3月）と介入群（2022年4月～2023年3月）の2群に分けて、研究実施機関の診療録より抽出し、介入効果の有無を評価します。</p>		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2025年3月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	2021年4月1日～2023年3月31日の間に、柏病院の集中治療室または一般病棟に入院して薬剤調整を行った18歳以上の方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	入院時常用薬の処方内容・服用剤数・服用期間、退院時の処方内容・処方薬剤数	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学附属柏病院 薬剤部
		氏名	林 隼輔
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	大塚 晋也		

	(4)共同で研究を実施する施設とその責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。
6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2023年7月頃～	
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学附属柏病院 薬剤部 研究責任者：林 隼輔（はやし しゅんすけ） 電話番号：04-7164-1111（内線 2331） 対応時間：平日 9:00～17:00	

利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。